

# やまぐち 11月1日



永年の丹精  
が実る

## 盛果期を迎える 二島みかん

秋穂二島では、昭和三十六年から温州みかんの栽培に取り組み、今では約七十畝が栽培されています。  
昭和三十年代に植えたみかんの木は、永年の丹精が実って、ぼつぼつ盛果期を迎え、秋の深まりとともに、日一日と黄色く色づいています。早生種は十一月下旬から収穫され、主に京阪神に共同出荷されます。

先行き不安から、放置された園もあって、一まつの暗い影もおちています。

ぐんぐん育つみかん園  
たわわに実をつける  
(峠山で)

### 市立幼稚園 入園児を募集します

来春、市立幼稚園に入園されるお子さんを募集します。

入園を希望する人は、各幼稚園備え付けの「入園願書」に、必要事項を記入し、入園を希望する幼稚園に期間中に提出してください。ただし、在園中のお子さんは不要です。

入園希望が定員をこえるときは、所在地の小学校区内に居住する幼児を優先し抽せんします。五歳児は、定員に満たない人員のみ募集します。

■願書受け期間 十二月一日から八日まで

■四歳児保育の該当幼児 四十八年四月二日から四十九年四月一日までに生まれた幼児

■市立幼稚園と四歳児の定員

- ▽仁保(八〇)▽宮野(一一〇)▽吉敷(八〇)▽平川(一一〇)▽小鯖(四〇)▽大内(八〇)▽辨鏡司(四〇)▽名田島(四〇)▽二島本園(四〇)▽二島分園(五歳児ともに四〇)

十一月九日 市民会館で

### 一日中小企業庁

中小企業者に国・県の施策を知ってもらい、また意見や要望をきくために開かれるものです。

十一月九日午後一時三十分から市民会館小ホールで、中小企業長官の講演、中小企業代表者が問題を出して、長官との意見交換が行われます。

なお、当日午前十時三十分から午後四時まで、中国電力俣山支店で、一日小規模相談室が開かれます。



# 観光客の伸びに「かげり」

数、三年前に逆もどり



五重の塔を訪れた日帰り観光客

## 主に宿泊観光客が落ちこむ

ところが、五十一年は百二十一万二千五百人で、前年比十四割も落ちこみま

た。その結果、観光客総数では四十八年とほぼ同じ水準に、また宿泊観光客は四十

## 百四十万人を記録した五十年

昭和五十年までは、順調に伸び続けた山口を訪れる観光客は五十一年、五十二年前半と減少し、観光客の伸びに一つの「かげり」をみせています。

昭和四十五年に年間七十八万一千六百人を記録した山口を訪れる観光客は、四十七年には百万人を突破し、新幹線の開通した五十年は、約百四十万人(うち宿泊観光客九十九万三千七百

人)にまで伸びてきました。

## 山口市の経済に影響がでる

長びく不況、国鉄運賃の値上げなどが観光客の減少に影響しているといわれ、県下全域に観光客は減少傾向がでています。観光のまち山口は、今その痛手があちこちにでて、その対策に苦慮しています。

## 市長賞 河村さん(洋画)獲得

### 第二十回市美術展覧会

第二十回の山口市美術展覧会が十月十四日から市民会館ホール、展示ホールで開かれました。

日本画、洋画、彫刻、書、写真、デザインの七部門に出展された百四十五点の作品から、次の人が入賞しました。

審査員の講評は、写真・彫刻は、出品が少ない、日本画、洋画は、全般にレベルが向上、工

力作を觀賞する市民

芸は若々しい作品が多かった、とのことでした。

▽市長賞 洋画 河村不二夫(山口芸術短大)

▽市議会議長賞 日本画 柳良幸昌(上野小路)

▽教育長賞 書 福永良子(若宮町) 洋画 稲木美代子(三宮一丁目) 写真 大田保(湯田温泉一丁目)

▽文化協会会長賞 工芸 斎藤美明(古熊一丁目)

▽教育委員会賞 デザイン 能地ケイ子(湯田温泉一丁目)

▽文化協会賞 デザイン 中土井康子(山口芸術短大) 写真 大村正行(鑄銭司)、山根一美(大内) 工芸 大和稔(宮野)、樫木宏(宮野) 書 佐川三重子(中園町)、重富恒子(陶)、村上藤子(矢原) 洋画 石津協蔵(矢原)、稲木健一(三の宮一丁目)

▽市長賞 洋画 河村不二夫(山口芸術短大)

▽市議会議長賞 日本画 柳良幸昌(上野小路)

▽教育長賞 書 福永良子(若宮町) 洋画 稲木美代子(三宮一丁目) 写真 大田保(湯田温泉一丁目)

▽文化協会会長賞 工芸 斎藤美明(古熊一丁目)

▽教育委員会賞 デザイン 能地ケイ子(湯田温泉一丁目)

▽文化協会賞 デザイン 中土井康子(山口芸術短大) 写真 大村正行(鑄銭司)、山根一美(大内) 工芸 大和稔(宮野)、樫木宏(宮野) 書 佐川三重子(中園町)、重富恒子(陶)、村上藤子(矢原) 洋画 石津協蔵(矢原)、稲木健一(三の宮一丁目)

▽市長賞 洋画 河村不二夫(山口芸術短大)

▽市議会議長賞 日本画 柳良幸昌(上野小路)

## 国民健康保険被保険者証

十二月一日から

### 新保険者証(薄茶色)に

国民健康保険の現在使用中の被保険者証は、十一月三十日まで、有効期限が過ぎます。

新しい被保険者証は、十一月中旬頃に納付組織加入者はお世話人さんを通じてお届けします。

新旧被保険者証を交換された後は、十一月中でも新しい被保険者証は使用できます。

### ごみ持込み時間

午前八時～午後四時(平日)

大内水上にある清掃工場(ごみ焼却場)の持込みごみの受け付け時間は、平日午前八時から午後四時まで、土曜日正午まで、東町が加わります。

### ごみ焼却場



焼却炉の耐火レンガのとりかえ工事

### 分解修理

昭和四十九年十月にオープンした清掃工場ですが、ごみにピニール類がまざっていることなどで、焼却炉の耐火レンガがくずれたり、灰を排出するコンベヤーなどがちびりしました。また、集じん装置の清掃の時期となっていたので、この分解修理が実施されました。

分解修理で生かされた施設は、二十四日からフル運転をはじめましたがこの間にたまったごみは、何と約千トン、平常運転になるのは、十二月下旬ごろになりそうです。事業費は、三千百万円でした。



# 収支の均衡を目ざす財政運営

## 昭和52年度上期財政報告

地方自治法の規定に基づき、地方財政に関する事項の公表に關する条例により昭和五十二年上期の財政状況を公表します。

昭和五十二年十一月一日

山口市長 泰夫

### 一般会計収支の状況

歳入	(単位 千円・%)		
	予算現額	収入済額	収入率
市地	4,429,065	2,351,732	53.1
地	118,000	32,104	27.2
税	23,000	7,746	33.7
金	160,000	50,289	31.4
等	4,600	0	0.0
金	1,492,000	863,220	57.9
税	23,013	0	0.0
金	126,374	49,580	39.2
料	146,613	81,000	55.2
金	2,749,410	692,369	25.2
入	663,029	89,645	13.5
金	101,054	7,769	7.7
入	14,040	4,919	35.0
金	34,415	28	0.1
入	67,604	67,604	100.0
金	487,990	50,746	10.4
入	2,245,800	93,000	4.1
合	12,886,007	4,441,751	34.5



2か年の継続事業で9月に完工した平川小校舎。プレハブからかわった新教室で子どもたちも笑顔

### 一般会計 予算現額

百二十八億八千余万円

二回の予算の補正  
九州市議会定例会で補正されたものを合せて二回の予算の補正を行い、一般会計予算現額は、当初予算に一億五千七百六

万円の追加し、百二十八億八千六百万七千円となりました。予算の追加補正は、緊急やむを得ない事業のみにとどめており、また、昭和五十一年度決算見込みが黒字となりました。

歳出	執行率		
	予算現額	支出済額	執行率
議	119,522	61,116	51.1
総	1,997,395	791,017	39.6
民	2,417,817	1,138,922	47.1
衛	840,969	297,733	35.4
生	55,066	26,102	47.4
産	647,918	110,322	17.0
業	400,419	165,168	41.2
水	3,042,845	371,405	12.2
工	343,101	144,650	42.2
木	1,741,173	582,167	33.4
防	221,671	33,158	15.0
育	967,141	439,064	45.4
復	65,329	12,767	19.5
債	25,641	0	0.0
出	12,886,007	4,173,591	32.4

歳入歳出とも予算現額には繰越額292,947千円を含む

歳入は、税収が若干伸び、普通交付税は前年度より少なくなる見込みです。しかし、財政の基礎が弱いため、多くの事業は起債に依存する現況で、苦しい財源を確保する必要があると見られます。

### 市債現在高

(単位 千円)	
	計
一般会計債	8,562,214
特別会計債	1,852,396
合計	10,414,610
一時借入金	250,000

### 市有財産現在高

現在高	
土	1,203,070㎡
建	190,748㎡
山	6,460ha
立	422,952㎡
有	1,965千円
価	49,774%
証	860,664%
権	732,963%
利	153,128㎡
権	
金	
現	
土	

### 特別会計予算と収支の状況

特別会計	(単位 千円)		
	予算現額	歳入	歳出
野	65,363	25,565	15,593
野	2,207,754	837,064	727,116
保	48,589	17,481	12,283
水	4,036	1,417	1,506
道	286,852	26,898	39,952
道	18,831	398	5,166
業	47,944	43,531	43,531
場	136,141	11,372	65,675
取	1,014,952	75,240	364,282
場	3,830,462	1,038,966	1,275,104

政運営が続いております。

たばこは市内で  
買いましょう。

たばこ消費  
税が年間3  
億円をこえ  
る税収にな  
ります。



小郡警察署隣接地にある消防分駐所に、新しく電話が設置されました。電話番号は、小郡局(〇八三九七)〇一四四です。

消防関係の相談などにご利用ください。なお、火事、救急通報は従来通りです。

消防分駐所(小郡)  
電話がきました

福祉手当の支払い

昭和五十二年十二月期(九月十一日)の福祉手当(月額五千五百円)は、十一月十五日までに受給者の指定された口座に振込みます。

なお、十二月期は今年十一月に繰り上げ支払いいたします。

利率がさがりました  
中小企業向け  
年末資金融資

市では中小企業者の年末資金として、金融機関に資金を預託し、融資にじます。

対象 市内に事業を有し、引続き一年以上同一事業を営んでいる中小企業者で、市税を完納しているもの。

条件 運転資金で、一企業五百万円まで。返済は五か月以内一括返済。貸付けは手形貸付けまたは手形割引。

利率は年六・七%以内。

期間 十二月二十八日まで

申し込み 取扱金融機関(山口銀行市内支店、山口信用金庫本店、支店)の窓口で。





今月のテーマ

ごみの出し方

毎日の家庭生活からできるごみ。これをスムーズに処理することは市の責任でもあり、市民みんなの願いでもあります。市も懸命にこの問題に取り組んでいます。出す側にも実行してもらったら、お互いもっとよくなる、といった問題を考えてみたいと思います。そのため、ごみ処理の現状とこんな出し方はやめて欲しいといった事例を紹介をします。

ごみ処理の現状

捨てるごみも費用がかかる

世帯の七十%から収集

現在、地域の全世帯の約七〇%からごみを収集中です。

このうち、燃えるごみは、約一万五千世帯が週二回収集、八千八百世帯が週一回収集で、また不燃物は月一回程度収集しています。

燃えるごみは、約一万二千余世帯は個別収集、そのほか五百六十七か所のステーションから不燃物は三百九十七か所のステーションから集めています。

年間処理収集車三万台分

集めたごみのうち、可燃物は



朝、一せいに出勤する空色の市ごみ収集車(富田原町の清掃課で)

大内の清掃工場で焼却処理、不燃物は秋穂二島不燃物処分場で埋め立て処分をしています。このほか、仁保木戸山では、事業用や一般から持ち込まれた不燃物を埋め立てています。このごみの五十一年度の処理量は、燃えるごみ一万五千ト、燃えないごみ約一万五千トで、これは収集車で約三万台分のごみの量にあたります。

一ト当たり処理費三万三千元

この作業を行う陣容は、収集作業車二十八台、収集管理、作業、焼却作業にあたる職員は百五人です。

ごみ処理に要した費用は、施設整備に要した費用を含めて、五十一年度、約四億九千三百万円。トン当たり三万三千余円、利用一世帯当たり二万九百九十九円、捨てるごみにも多大の費用がかかっているのです。

出し方の困る例

出す側に守って欲しい五つのこと

水切りの悪いごみ

ごみの中には、残飯や料理くずなどの台所ごみがあります。

家畜が少なくなくなり、また、燃えにくいごみのため、最近増えてきました。

ところが、ごみの水切りが悪いと運搬中に、車から汚水が落ち、道路をよこします。また高温度の焼却炉でも、焼却の効率は、極度に落ちるのです。

ビニール袋に入れた直後は水はなくても、時間がたてば水はごみの中から、にじみでてしまいます。



ポリ容器に入った水切りのわるい台所ごみ

離散するごみ

ごみの収集日は、可燃物と不燃物はちがいます。ところが、燃えるごみと燃えないごみを一緒に出す人がまだ後をたちませぬ。ごみはごみでも二つのごみ



電線に整列ッ

おしゃべり

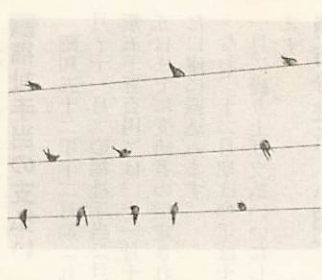
十月中旬頃、市内のあちこちで、朝、ツバメの大群がみられます。

三月初旬、南の国から飛来してきたツバメは、春から秋にかけて、普通二回、暖かい地でヒナをかえします。

そして、群をつくって、南の国へ帰っていくのです。

住宅様式の変化で、最近はずバメも住宅難のようで軒先に巣を作るものですが、ビル

のヒサシに巣をつくったりして各地で話題をまきます。南国に帰る頃、元気で育った子ツバメたちは、群をなして電線に整列し、おしゃべりまた、大空で大群の乱舞の光景がみられます。ツバメが去ると、秋は一段と深まり、初冬の気配がしのびよってきます。



話題 若やいだ お年寄りたち 一福寿園一

福寿園のお年寄りたちは、このほどトレーニングウェアを新調しました。

男性は濃い赤、女性は薄緑の上下に帽子。

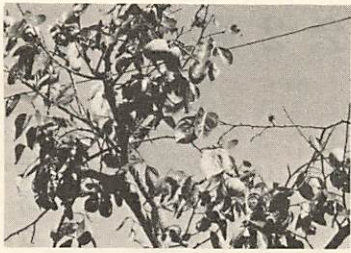
はじめは、原色に恥じらいもありましたが、今ではすっかり板につき、姿も気持ちも若やいできました。

毎日、午前九時になると、おそろいのユニホーム姿で、みんなで、シコフミ、パンザイなどユニークな体操をしま



す。快食、快便、快眠は、園の生活モットーです。汗と健康のハーモニーと銘名されたこの試み、お年寄りたちはすっかりなじみ、体操を道行く人も足をとめて眺め、朝倉町内では話題となっています。





— 秋深く熟す柿 —

11月は別名シモツキ(霜月)といひます。秋が去り、冷たい朝、庭に白い霜を見るようになります。すぐそこに冬の足音が聞えるようです。

—11月のこよみ—

■文化の日 3日 昭和21年のこの日に、新憲法が公布されました。これを記念して、文化の日と定められ、「自由と平和を愛し、文化をすすめる日」とされました。この日を中心に、文化グループの発表会などがあります。

■お年玉つき年賀はがき発売 7日 毎年11月上旬に発売される年賀はがきは、今年は7日から。山口市内での発売枚数は約304万枚。

■狩猟解禁 15日 法令を守って事故のない楽しい猟をしましょう。

■勤労感謝の日 23日 「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日」として定められた祝日。台風もなかった今年の秋は、米も、果物も豊作、豊かな秋に感謝しましょう。

■全国火災予防運動 26日~12月2日 本格的な寒さに向って、火災予防に気をつけましょう。いつも火を使う場所の整とんを。また電気、ガスなどの器具の点検を十分しておきましょう。

■刑法・少年法「改正」問題講演会・11月5日午後1時20分から県立図書館で。「刑事立法の新しい動き」法政大学吉川経夫教授の講演のほか映画も上映。県弁護士会の主催。

野犬の仕わざ?で、道ばたで、ちりじりになったごみと野犬や風雨にさらされ、ごみが離散して、環境をそこなうものになるのです。また、荷造りの悪いごみ、コンクリート製のごみ箱に包装せずに投げこまれたごみは、収集作業に大変不便なものです。

車や焼却炉に入らな

いごみ

燃えるごみの収集車は、車の後から投げこんで積みます。しかし、五十センチ以上の木材や畳といった大きなゴミは、車に積みませんし、焼却炉にも入りません。今、清掃工場は粗大ごみの破砕機を設置中ですが、同工場には、畳や木材がうす高く積まれています。

台所ごみで、包装のわるいごみや、収集日前に出してちらかたごみは、大変においが強くなります。集積場全体がくさくなり、第一大変見苦しい光景となります。また、ガレキでびん、かんなどの食品容器は、よく水洗いしないと、処理途中でも悪臭源となり、埋め立て処理場でも困ります。



は行き先がちがいます。また、期日をまちがえて出す

おいのひごみ

山口市民の捨てる「ごみ」の中にも自転車、冷蔵庫、鉄くずなど明らかに「金」になる、まだ使えそう、と思えるごみが後をたちません。最近、婦人会や町内で分別収集をし、回収業者に引きとってもらう団体が北部地区で百四十六団体とふえています。

「金」になるごみ

山口市民の捨てる「ごみ」の中にも自転車、冷蔵庫、鉄くずなど明らかに「金」になる、まだ使えそう、と思えるごみが後をたちません。

最近、婦人会や町内で分別収集をし、回収業者に引きとってもらう団体が北部地区で百四十六団体とふえています。これは、単にごみを少なくするということだけでなく、「省資源」の立場から、考えたい問題でもあります。

出すごみにも心づかいを

ごみの種類も多くなり、量も年々ふえてきます。そして経費がかかるものです。しかし、ごみ処理をおこたるとごみのあふれるまちになってしまいうでしょう。家庭ごみの処理は、市の責任だから一いつて出す側は集積

場を持って行けば終り、ということではなさそうです。出たごみがスムーズに処理できるためにも、また、捨てるごみに「金」をかけないためにも、お互いに出すごみにも、心づかいが欲しいものです。

資源回収に役立つごみ

- 金物類 空かん・ブリキ・鉄・鉄製品・アルミ
- 紙製品 新聞・雑誌・クラフト(セメント袋など)・ボール紙
- 布製品 古布・綿など
- 空びん ビールびん・ウイスキーびん・飲料水びん・牛乳びんなど

南から北から

なかれ身をもってこの弊害を体験していると思えます。私は生活学校の一員です。生活学校は、みんなで学習し行動していくところです。ところが、子どもの家庭教育となるとめいめいがこもり

提言

学力偏重



一佐山須川前一 伊東瑩子さん 主婦

にもならない。燃えつきるだけで終りそう。他人にも火をつけて、みんな考え、実行してこそ、その火は大きくなる。とてつもない大問題である。でも、みんな考え実行すれば、よくなると思えます。

近頃の世の中、何といつても「学力偏重」という気風が強くて、それがための弊害は、子どもの社会にも、大人の社会にも多いと思えます。子どもの家庭での教育の主役である母親は、多かれ、少

がちで、話題になりません。「学力偏重社会」といったものに義憤を感じながら一人モヤモヤした感じではないでしょうか。一人が「燃えたつて」どう



小鯖から、防府市大道の切畑へ越える峠を千切峠といひます。この千切を通る道は、仁保の石坂から秋穂浦に至る路線で、もとは石坂から長野に出、終から小鯖川を舟で渡り、別当に出、南行していましたが、今は県道となつて、路線が少しかわつています。

この道路は古い時代の山陽道の支道で、大内時代まで小鯖の本道でした。それでその頃には、小鯖に関所があったといひ、今でも関屋の地名が残っています。江戸時代になり、鯖山越えが本街道となりこの道はさびれましたが、小鯖の人びとは且や大海の海にゆき、且街道として親しんでいました。峠を越えると瀬戸内海がよく見えます。



### お年寄りがすべて運営

白石老人クラブ

白石地区老人クラブ連合会(会長・藤井清輔)は、十月十六日児童文化センターで、お年寄りだけの運動会を開きました。



(自主運営もまた格別楽し)

これはお年寄りにも運動会を楽しんでもら

おうと白石地区の九単位老人クラブがはじめて企画運営したもので、地区老人クラブの運動会は市内でもはじめてでした。午前十時、競技開始。繰り出しから用具の配置、賞品くぼりまで、世話人さんへてんでこまいでしたが、参加した百四十人のお年寄りは、二時間の運動会を心ゆくまで、楽しみました。大いにハッスルして、さっぱりと汗をかいた後、みんなで、寿泉荘の風呂につかって、運動会談義に花をさかせました。

## 異色の運動会 2 題

### 賞品は産地直入のいも・キャベツ

木町レクリエーション大会

午前中は運動会、午後は球技大会と幼児からお年寄りまでみんな参加できる大会です。

明るい近所づき合いは、お互いの親睦からと毎年町内会が開いているもので、幼児から中学生までの徒競走、町内会長さんモデルに似顔絵かきの一筆リレー、紙飛行機の競走など、それは楽しい催しがいっぱい。

そして賞品は、ほとんどが野菜、お世話人さんが秋穂二島の

十月十六日、木町町内会は、香山公園で、総勢三百人のレクリエーション大会を開きました。

産地から買ってきたキャベツ・いもなど新鮮な野菜がどっさり。力いっぱい競技した後は、賞品の野菜が待っていました。こうして、笑いと快よい疲れにつつまれたレクリエーション大会は、全員が歌とあいさつのさよなら行事をして午後二時三十分に散会しました。



(賞品は子どもの頭ほどあるキャベツやいも)

願書の締切りは、十一月三十日まで。くわしいことは県庁県民課へ。

### 無料法律相談

とき 十一月十五日午後一時から

ところ 市中央公民館

市が隔月に一回開いているもので、土地売買、金銭貸借、相続など法律上の問題に弁護士さんが相談に応じるものです。

### 食事をあずかる主婦に

### 市民医学講座

日時 十一月十二日午後二時から四時まで

場所 湯田温泉五丁目 市医師会健康管理センター

テーマと講師 「健康長寿のための食生活のあり方」 山吹隆寛岡山大学医学部教授

健康が気かりの人

### 市民健康診断

日時 十一月十七日午後一

時三十分から三時まで  
場所 湯田温泉五丁目 市医師会健康管理センター

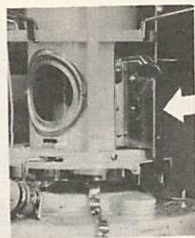
検診内容 内科一般  
検査、検尿、胸部X線検査

検査料 千五百円  
(一人分)

いずれも、山口市医師会の主催。市民のみならず、多数聴講や利用してください。

山口市医師会

### 石油ストーブ(移動式)は 自動消火装置付ですか



自動消火装置

家庭や職場で使う移動式石油ストーブは、地震などの振動によって自動的に消火する装置がついていないものは、  
「山口市火災予防条例」によつて、今年十月一日から使用してはならないことになりました。地震などの思いがけない振動で、石油ストーブが倒れ、火事の原因にならないようにするためです。昭和四十八年以後に購入された石油ストーブは、対震自動消火装置がついているはずですから、確認しておいてください。

### 生活メモ

### 健康食品は薬ではありません

最近、いわゆる健康食品がブームを呼んでいます。しかし、「健康食品」は、あくまで食品であつて、病気の予防や治療を目的としたものではありません。したがつて、「〇〇に効く」などの効能効果をうたい、広告したりすることは禁じられています。また「医薬品」であれば、食品とちがひ、効能効果や用法などが明記されています。

日常生活で、私たちは次のことにお互いに気をつけましょう。

食品はあくまで栄養補給や健康維持のためですから、医薬品とは正しく区別しましょう。

健康を保つ基本は、バランスのとれた栄養補給ですから、自然食品や健康食品を過信したりすることのないようにしたいものです。

### 青年海外

### 協力隊員募集

開発途上の国へ、技術、技能を身につけた青年を派遣する隊員を今募集中です。資格は二十歳以上三十五歳までの男女で、派遣前四か月訓練を受け、二年間海外に派遣されるものです。

### 無料法律相談

とき 十一月十五日午後一時から

ところ 市中央公民館

市が隔月に一回開いているもので、土地売買、金銭貸借、相続など法律上の問題に弁護士さんが相談に応じるものです。

### 市民医学講座

日時 十一月十二日午後二時から四時まで

場所 湯田温泉五丁目 市医師会健康管理センター

テーマと講師 「健康長寿のための食生活のあり方」 山吹隆寛岡山大学医学部教授

健康が気かりの人

### 市民健康診断

日時 十一月十七日午後一

### 庭球を習いませんか(軟式) 初心者教室を開く

主催 市教育委員会  
軟式庭球連盟、婦人スポーツクラブ連絡協議会  
会  
申し込み 十一月八日までハガキまたは直接、亀山町二一市教育委員会体育課へ



(7)



▲元気な気合が秋空にこだま

10月9日、吉敷四の宮の境内で鴻南少年剣友会の小学生35人が参加して、剣道大会が行われました。紅白に分かれて個人戦や風船割りを行い、秋晴の空には元気な気合がひびきわたりました。



▲待望のゝ足、中央公民館に贈られる

山口青年会議所（理事長中村浩美）は中央公民館が車のないのを知り、会員の車を整備して10月3日中央公民館に寄贈。同館では活動のゝ足、ができた早速フル活用をしています。

▼榎野川清掃大作戦を展開一宮野

榎野川をきれいにしようとする宮野観光協会の呼びかけで、10月9日午前8時から宮野地区の人約400人が、川の清掃を行いました。

鎌やビニール袋をもって、川に入った人たちは、ビラプリンスから下窓路橋の間、約3kmの川の草やごみをきれいに片付け、川はすっかりきれいになりました。



▲思い思いの焼物をつくる

創造力を養おうと児童文化センターで楽焼講座が10月9日開かれました。集まった小学校5、6年生は、灰皿、動物、花びんなどの創作に取り組んでいました。



▲古式ゆかしい流鏝馬

山口市に残っている流鏝馬（やぶさめ）が10月6日今八幡宮秋季大祭の神賑行事の一つとして行われ、大勢の見物人でにぎわいました。流鏝馬は古くは馬を走らせ、的を射る行事だったが、近年は馬に乗り桜の造花を見物人にくぼる形になっています。



知る同和教育から人を変えていく同和教育へ (2)

ある中学校のPTAの研修会で、「ゆがんだ視線」という人権の問題を扱った映画を子どもたちと一緒に見て、次の時間に行われた授業を参観したところ、子どもたちは映画の内容をもとに純粋な見方で、人権について熱心に話し合っていたのに比べて、保護者の多くが映画を見て抱いた感想は、親としては恥かしいくらい偏見に満ちたものであったということが、あとの懇談会で話題になったという事です。

こうしたことについてある人は、「かつて、私たちが教育を受けた時代は、今のようないまの正しく同和教育は行われていませんでした。だから私たち大人は、今日においても人権意識が希薄です。正しい人権意識を自分のものにしていたら、今の世の中はもっと豊かで、人権が尊重される明るく住みよい社会になっていたでしょう。今こそ、この同和問題を中心にすえて、自分の生き方を見つめなおすことが大切ですよ。」と大人の学習とそれによる意識の変革の必要を力説しておられます。

私たちの身の回りには、まだまだ部落差別を許すふんい気が強く残っています。近づき合い、学校や職場やいろいろな集いを通じてのつき合いはなされても、結婚などに際しては、当然のことのように差別問題が起つてきています。「そんなつもりではなかった」というような弁解や、「私だけではない」というような社会的観念が、罪悪感もなく、当たり前のような形で通用していることは大きな問題で、決して許されるべきものではありません。差別の偏見を根絶するためには、私たちの責任において、このような観念を一掃しなければなりません。そのために、人権尊重の考え方に徹し、「差別の現実を学ぶ」ことにより社会的な判断力を高め、身近なところから、機会をとらえては少しでも偏見を除去していくことが大切です。そうしていくことが大切です。その自主的、主体的な取り組みが、同和問題解決の起点となり、さらに連帯の高まりによって、幅広い大きな動きとなって、地域社会のより多くの人々の意識の変革を促し、だれもが自分の意識の中に「同和問題は必ず解決される」という展望を持てるようになることが、私たちの責務ではないでしょうか。



無料レントゲン

健康診断

△白石・湯田・大殿地区△

月日	時間	場	所
11・8 (火)	9.10~10.00	米屋町	第一勧銀駐車場
	10.10~10.50	龜山町	西日本新聞社前
	11.00~11.50	惣太夫町	国鉄アパート内
	13.10~14.00	東山二丁目	東山保育園
	14.10~14.40	駅通り二丁目	市営駐車場
11・9 (水)	9.20~10.00	道場門前二丁目	金龍館前
	10.20~11.00	糸米一丁目	ささや商店前
	11.10~11.50	白石三丁目	沢商店前駐車場
	13.10~14.30	中央五丁目	NHK山口放送局裏
	14.40~15.20		山口高校正門前
11・10 (木)	9.40~10.10	惣太夫町	オーノニット正門前
	10.20~11.00	旭通り一丁目	三宅商事駐車場
	11.10~11.50	中央五丁目	徳田建設本宅横
	13.10~13.40	本町一丁目	浩文社横駐車場
	13.50~14.30	黄金町	元山口ガス入口
11・11 (金)	9.10~10.00	赤妻町	県営住宅内
	10.10~11.00	錦町	西村商店前
	11.10~11.30	朝倉町	朝倉団地入口
	13.30~14.00	朝倉町	福寿園
	14.10~14.50	神田町	国広商店前
11・14 (月)	9.00~9.40	三和町	隣保館横
	9.50~10.20		縫製企業組合
	10.30~11.00	泉都町	石井眼科医院横
	11.10~11.50		藤田木材KK
	13.10~13.40	湖田温泉一丁目	山口土木交友会館前
11・15 (火)	9.30~9.50	湖田温泉三丁目	福田屋旅館前
	10.00~10.30	六丁目	かめ福祉員寮前
	10.40~11.30	六丁目	泉マンション横
	13.10~14.00		井上公園内
	14.10~14.40		児童文化センター
11・16 (水)	9.20~9.40	天花畑	岡村好治宅前
	10.00~10.50	天花畑	県天花独身寮前
	11.00~11.50	上野小路	福田初次宅横
	13.10~13.40		大神宮前
	13.50~14.30	水の上町	日赤山口支部
11・17 (木)	9.00~9.50	下後河原	麻生武夫宅前
	10.00~10.50	大殿大路	龍福寺前
	11.00~11.50	道祖町	永末天正堂前
	13.10~14.00		市福祉センター
	14.10~14.50	天花	県職員アパート内
11・18 (金)	9.10~10.00		野田神社入口
	10.10~10.50	金古曾町	ザビエル公園前
	11.00~11.50		仁聖神社(三の宮)入口
	13.10~13.40	道祖町	小河屋製菓工場駐車場
	13.50~14.30		大殿中学校
14.40~15.30	大市町	田中鮮魚店前	

お知らせ



一人一役、みんなで参加してこそ新しいまつりは意義深い。写真は今年春の「大内まつり」で。

児童文化センター受講生募集

無線の基礎知識、理論と実技を十一月十二日から三回学ぶ。  
対象 小学校五年生から三回生まで  
募集人員 三十名  
講師 河村和夫先生  
十一月十二日と十三日の二回、対象は小学校一、二年生、四十名  
講師 宮内孝子先生

持参品 画用紙代六十円と絵をかく用具  
十二月三日と四日の二回、対象は小学校三年生から六年生まで、募集人員、四十名  
講師 押方敏春先生  
持参品 材料代百五十円、彫刻刀  
いずれも会場は児童文化センター、申し込みは十一月十日までに児童文化センターへ(湯田温泉五丁目二四二八五)

出張所地区の十一月・十二月旬の可燃物収集日  
(十一月) 佐山四日、名田島五日、秋穂二島七日、小鯖十一日、平川十五日、大内十七日、大歳二十二日、仁保二十四日、宮野二十八日、吉敷三十日、(十二月) 嘉川一日、陶・鑄銭二日、佐山三日  
十一月九日と二十三日はねこの引取りを中止します。

みんなで参加しよう  
共に歡ぶ新しい祭り。

十一月は、各地区で公民館まつりや農業祭がくりひろげられます。  
実りの秋を祝った村祭りからみんなで参加、みんなで歡びをそして連帯をと型のかわったまつりがはじまってから、数年、グループ活動の成果発表、スポーツ会、芸能大会など、各公民館では、参加して楽しむまつりの準備をすすめています。積極的に参加し、よろこびを分かち合い、新しい連帯を創り出していきたいでしょう。  
▽十一月二・三日嘉川文化祭  
▽六日二島公民館まつり  
▽十二・十三日中央・吉敷文化祭  
▽二十一日十四日秋の宮野展  
▽二十三日仁保農業祭・小鯖公民館まつり  
▽二十七日平川・大歳・鑄銭司・名田島・佐山文化祭  
▽二十四日陶文化産業祭

県行政書士試験  
。11月20日県社会福祉会館で。申し込みは、11月11日までに県庁地方課へ。

52年後期

小児マヒ生ワクチンの服用  
。対象者  
(1)新規 52年1月21日から52年7月20日までの出生者  
(2)2回目 51年7月21日から52年1月20日までの出生者  
。服用できない幼児  
有熱患者、下痢患者、病後衰弱者、麻疹ワクチン接種後1か月以内のもの  
。料金 無料

月日	会場名	時間
11月19日	嘉川公民館	9.30~10.00
	佐山公民館	10.30~11.00
11月21日	宮野出張所 仁保生活改善センター	9.00~10.00
	小鯖出張所	10.30~11.00
	市役所市民ホール	11.20~11.50 13.30~14.30
11月22日	平川出張所	9.00~10.00
	大福出張所 福祉センター	10.30~11.30 13.30~14.30
11月24日	敷敷出張所	9.00~10.00
	吉大湯出張所 田小理科	10.30~11.30 13.30~14.30
11月25日	陶公民館	9.30~10.00
	鑄銭司公民館	10.20~10.50
	二名島公民館	11.10~11.40 13.30~14.00
12月2日	嘉川公民館	9.30~10.00
	名田島公民館 市役所市民ホール	10.30~11.00 13.30~14.30

11月の休日当番医	日	外 科 系				内 科 系				
		病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	
3	山口病院	山口2-1191	林病院	小郡2-0411	尼崎医院	山口2-1771	浜本医院	小郡2-0616	三河内医院	秋穂 2503
6	淵上整形外科	山口2-6644	共立病院	阿知須2200	牧野医院	山口2-0885	林病院	小郡2-0411	佐藤医院	阿知須2126
13	村田整形外科	山口2-5765	嘉村外科	小郡2-2513	藤田医院	山口2-0149	田医院	小郡2-0279	共立病院	阿知須2200
20	田村外科	山口2-7527	相川医院	四辻 2177	美澄医院	山口2-2285	第一病院	小郡2-0333	賀屋医院	二島 2033
23	丘病院	山口5-1100	村田外科	小郡2-7100	本永内科	山口5-7001	上郷医院	小郡2-0916	村田医院	嘉川 2510
27	柴田外科	山口2-1012	第一病院	小郡2-0333	山	山口2-0206	田中内	小郡2-2325	藤井	二島 2002

診療時間は8時30分から17時30分

歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ